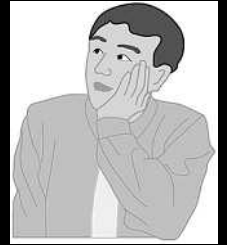


皆さん、ご存じですか？ 新潟市民、新潟市出身の方に是非、お知らせしたいこと。

旧万代小学校跡地に 「中国総領事館」が 拡大移転されようとしています。



【皆さんにお知らせしたいことの経緯】

昨年、中国政府は沖縄に中国総領事館を作ろうとしておりましたが、「総領事館に中国軍関係者や情報機関の人間が常駐すれば、米軍や尖閣諸島を監視する前線基地になる懸念が生じる」（平成21年3月3日『読売新聞』）として、日本政府はこれを断り、新潟への設置が浮上。そして、今年6月に万代島ビル内に新潟中国総領事館ができました。同じ万代島ビルには韓国とロシアの総領事館もあります。完成から2ヶ月後の8月中旬、3～5年のうちに自己所有の総領事館を建設する計画があるため、用地として万代小学校跡地（約5000坪、東京にある中国大使館より大きい面積）を購入したいと依頼が中国側から新潟市に対してありました。（平成22年9月16日『新潟日報』）



ここから話は急展開します。まず中国総領事館は新しい総領事館が完成するまでの間、中央区西大畑町の建物を借り上げ、万代島ビルから年内にも移転するそうです。そして、9月16日、新潟市から旧万代小学校の周辺自治体に対し、旧万代小学校を中国総領事館にしたいとの説明会がありましたが、その段階で売却を前提にした測量の契約が締結されており、住民からの指摘に後日これを契約解除。

これからも説明会が実施されるといいますが、住民無視ともいえる強引な進め方（議会に対しても同様）に加え、尖閣諸島の衝突事件、「中国の民主運動家・劉暁波氏」にノーベル平和賞を授与したとしてノルウェー政府に強硬な手段をとる等、多くの日本国民が理解したように日本や他国に軍事力を背景にした敵意をむき出しにする国家・中国が相手だという認識がない、新潟市のやり方に危機感を感じます。

1．万代長嶺小学校が隣接する広大な地に、治外法権となる施設ができていいのでしょうか。次世代を担う大事な子供たちのため、安全、安心な学校教育環境を維持できるのでしょうか。

2．売却すれば一時的に市財政にプラスになるのでしょうか、目先の利益だけにとらわれた判断をしていいのでしょうか。

3．なぜ中国にだけ便宜を計るのでしょうか。私たちが言いたいことは民族差別ではありません。逆に韓国、ロシアと同じにするのが平等な対応ではないのでしょうか。

【皆さんと一緒に考えたい、今後のこと】

新潟市民の財産である旧万代小学校跡地を売却するためには、

1. 地元住民の方々への説明と合意

2. 新潟市議会への譲渡議案の提出

このままのスケジュールであれば12月定例会、もしくは臨時議会を開催して、市長部局から議会への譲渡するための議案が提出されます。

3. 新潟市議会での議決（議員の過半数）

提出された議案を新潟市議会で審議し、過半数の賛成で可決した場合、売却が決定してしまいます。

という流れです。当然、1の地元住民の皆様からの合意がない場合、まともな行政であれば2はありません。仮に議会に提案されたとしても、3の新潟市議会議員の過半数が「反対」してくれれば、売却されることはありません。

是非、皆さんとともに考え、反対をしていきたいと思えます。

皆さんが前回の選挙で投票した新潟市議会議員にも働きかけをお願いします。

中華街設置要望について

「中国総領事館開館記念鼎談」において、王華在新潟中国総領事館領事が「新潟でチャイナタウンを作ったらどうですか」という発言に対し、商店街から中華街の設置要望が新潟市長に提出されました。（平成22年8月13日『新潟日報』）

世界のチャイナタウンでは色々な問題が発生し、日本国内でも東京都の池袋ではごみ出しといった小さなルールを守れないことや、治安上の問題が発生し、商店街の大きな問題となっております。

犯罪発生率の多さを考え、宮城県仙台市では中華街構想が頓挫しています。

中華街設置には反対すると同時に、地元商店街に私たちがもっと目を向けましょう！

わが新潟市の
魅力は
新潟らしさで
作ろう！

*新潟市に中華街があるからといって

人は来るのでしょうか？ここでしか出せない新潟の魅力を追及すべきでは？